

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2018年5月19日～2018年5月25日の推移】

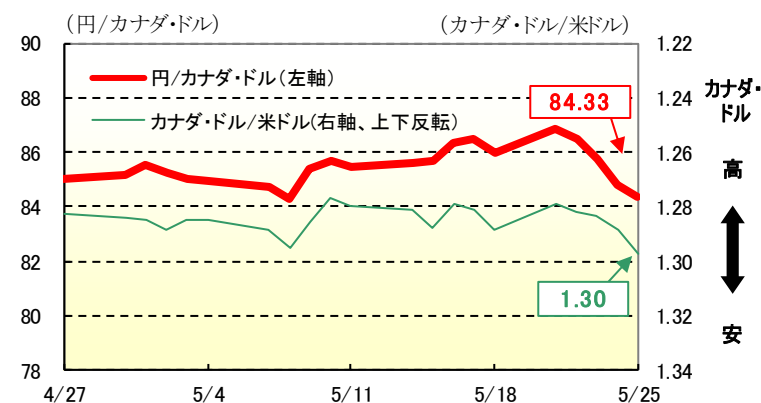
### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円やカナダ5年国債利回りは下落しました。

先週は、米国金利が上昇したことや米国による自動車輸入関税引き上げのニュース、またサウジアラビアや非OPEC(石油輸出国機構)諸国の原油増産との報道による原油価格下落などを受けて、カナダの金利やカナダ・ドル円は下落しました。経済指標では、3月の卸売売上高が発表されましたが、影響は限定的でした。

### 【カナダ・ドル 為替推移】

(2018年4月27日～2018年5月25日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

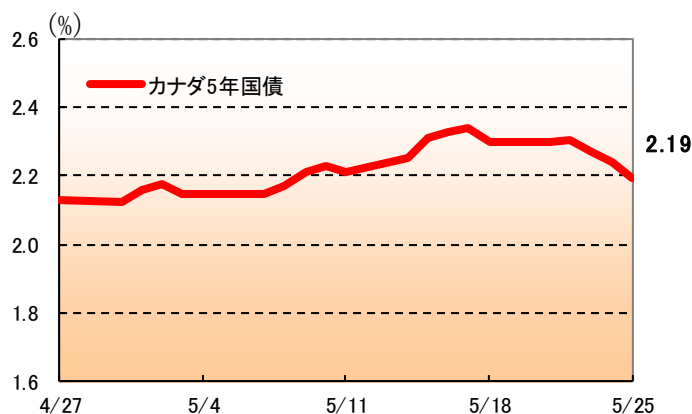
### 【2】今週の見通し

今週、カナダでは政策金利が発表されます。今回は据え置きが予想されています。カナダ銀行(中央銀行)は時間とともに利上げが必要となる可能性があるとして述べており、次回の利上げ時期に関する示唆が得られるかどうか注目しています。また、経済指標では1-3月期のGDP(国内総生産)と経常収支が発表される予定です。

カナダのトルドー首相は、米国による自動車輸入関税引き上げについてトランプ大統領と電話会談を実施し、強い懸念を伝えました。NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉も進展しない中、貿易面の不透明感依然として払拭されていません。今週はカナダでG7財務相・中銀総裁会合も予定されており、高官発言に注目したいと考えています。通商面の不透明感に加えて、原油価格下落もカナダ金利やカナダ・ドルの上昇圧力を抑える要因になるとみえています。

### 【カナダ 金利推移】

(2018年4月27日～2018年5月25日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>